

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成27年1月15日(2015.1.15)

【公開番号】特開2014-131310(P2014-131310A)

【公開日】平成26年7月10日(2014.7.10)

【年通号数】公開・登録公報2014-037

【出願番号】特願2014-21592(P2014-21592)

【国際特許分類】

H 04 L 1/18 (2006.01)

H 04 W 28/04 (2009.01)

H 04 L 29/08 (2006.01)

【F I】

H 04 L 1/18

H 04 W 28/04 1 1 0

H 04 L 13/00 3 0 7 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月21日(2014.11.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無線送受信装置(WTRU)であって、

下りリンク信号チャネルを介して、上りリンク送信のための物理リソースの割当を受信するように構成された制御装置を備え、

前記制御装置は、割り当てられた物理リソースを介して、ハイブリッド自動再送要求(H-ARQ)プロセスを用いて第1のブロックを送信するようにさらに構成され、

前記制御装置は、前記第1のブロックの送信に応じて、タイマーを初期化するようにさらに構成され、

前記制御装置は、前記タイマーの満了および物理リソースの割当を受信していないことに応じて、上りリンク信号チャネルを介して、物理リソースの割当の要求を送信するようにさらに構成され、

前記制御装置は、前記要求に応じて、下りリンク信号チャネルを介して、物理リソースの割当を受信するようにさらに構成され、

前記制御装置は、前記物理リソースの割当に応じて、前記H-ARQプロセスを用いて第2のブロックを送信するようにさらに構成されたことを特徴とするWTRU。

【請求項2】

前記第1のブロックの送信は、他のデータの送信より優先されることを特徴とする請求項1に記載のWTRU。

【請求項3】

前記制御装置は、前記第1のブロックの送信を初期化する論理チャネルのデータを受信するようにさらに構成されたことを特徴とする請求項1に記載のWTRU。

【請求項4】

前記制御装置は、前記第2のブロックの送信のための物理リソースの割当の受信に応じて、前記タイマーをリストアするようにさらに構成されたことを特徴とする請求項1に記載のWTRU。

【請求項 5】

無線送受信装置（ＷＴＲＵ）により実行される方法であって、
下りリンク信号チャネルを介して、上りリンク送信のための物理リソースの割当を受信
することと、
割り当てられた物理リソースを介して、ハイブリッド自動再送要求（Ｈ-ＡＲＱ）プロ
セスを用いて第1のブロックを送信することと、
前記第1のブロックを送信することに応じて、タイマーを初期化することと、
前記タイマーの満了および物理リソースの割当を受信していないことに応じて、上りリ
ンク信号チャネルを介して、物理リソースの割当の要求を送信することと、
前記要求に応じて、下りリンク信号チャネルを介して、物理リソースの割当を受信する
ことと、
前記物理リソースの割当に応じて、前記Ｈ-ＡＲＱプロセスを用いて第2のブロックを
送信することと
を備えたことを特徴とする方法。

【請求項 6】

前記第1のブロックを送信することは、他のデータを送信することより優先されること
を特徴とする請求項5に記載の方法。

【請求項 7】

前記第1のブロックの送信を初期化する論理チャネルのデータを受信することをさらに
備えたことを特徴とする請求項5に記載の方法。

【請求項 8】

前記第2のブロックの送信のための物理リソースの割当を受信することに応じて、前記
タイマーをリストアートすることをさらに備えたことを特徴とする請求項5に記載の方法。